

意見の概要および市の考え方（彦根市観光振興計画（中間見直し版）（素案））

No	意見の概要	意見数	修正の有無	市の考え方
I 目標指標および目標値の見直しについて				
1	目標設定が年度指数の 1.5 倍にする。策定ありきで計算されてものを記載するのではなく、策が無くて年月が経過した数字に 1.5 倍はおかしい、本年は多賀町・長浜市と連携で観光消費、経済波及効果が出来る。次年度は、民間事業所や平和堂さんのイベントと連携する等策設定が必要です。	1 件	有	<p>もともと、現計画における目標としましては、中間目標値として令和 2 年度の経済波及効果を基準値の 1.5 倍に、最終年（令和 7 年度）の経済波及効果を基準値の 2 倍にしていたところですが、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けている現状を鑑み、このたびの中間見直しでは、中間目標値を据え置き、最終年の経済波及効果を基準値の 1.5 倍に引き上げることとしました。この経緯について、素案では不明瞭であったため、追記いたします。</p> <p>なお、周辺市町との連携につきましては、施策⑥において「広域観光連携を推進すること」と記載しておりますとおり、これまでも様々な場面で連携してきたところですが、引き続き連携・協力して広域観光を推進してまいります。</p> <p>また、序章の「I. 計画策定の趣旨」に記載しておりますとおり、本計画は、官民が一体となって実践する戦略的な観光施策などについて策定したもので、第 3 章の「II. 官民一体となった事業推進」にも記載しておりますとおり、民間事業者様とも連携しつつ観光政策を推進してまいります。</p>
2	観光振興に関する基本方針は、具体的に数値化し、総合的複合的に方針を見直すべきです。施策①、施策②から施策⑥まで、誰が何をどの位何故するのか何時迄に、達成しない時は見直す等具体的にすべきです。具体化しないから進行しない。事業が振興しないと断言する。観光振興は彦根市のビジネス計画である。責任ある策定であるべきです。	1 件	無	<p>今回の中間見直しでは、最終年（令和 7 年度）の経済波及効果を基準値の 1.5 倍に引き上げることとしたほか、その他の個別指標についても、現計画では令和 2 年度の中間目標値までしか設定されておりましたので、個別指標の数値目標を再設定いたしました。各数値目標を達成すべく、本計画の施策①～⑥におきまして、短期的取組および中長期的取組としてそれぞれ取組内容を記載しており、これらに基づいて各種具体的な施策を実行してまいります。</p> <p>また、本計画は令和 7 年度を終期とした計画ですが、第 3 章の「III. 効果検証と計画の見直し」においても、事業の効果検証および効果検証結果に基づく事業計画の見直しを図ることとしており、都度必要に応じて計画の見直しを行ってまいります。</p>

II その他

3	<p>策定されている内容に基本的に賛同いたします。</p> <p>空き家対策とも重複しますが、文化的価値を有した町家や足軽屋敷について、見学できるように整備するほか、店舗などとして活用可能なものは積極的に活用するのがよいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none">・具体例として、足軽屋敷方面に伝統的建造物を利用した、スターバックスコーヒーのリージョナルランドマークストア（京都二寧坂ヤサカ茶屋店、神戸北野異人館店など）があったら面白いし観光客の足軽屋敷方面への流れを作ることができます。・町家を利用したおしゃれなイタリアンやフレンチ、創作居酒屋など・町家等を利用した、県内の工芸品や若手工芸作家の作品、現代のプロダクトデザインと彦根や湖東地域の伝統工芸技術のコラボで生み出した商品などを扱う、おしゃれなセレクトショップなどがあれば観光スポットになると思います。 <p>●宿泊について</p> <p>彦根の観光に不足しているのは「ラグジュアリーさ」ではないかと思います。</p> <p>人に自慢したくなるようなラグジュアリーな旅。そこに行ったことがステータスになるような場所や体験。例えば宿泊施設なら、京都の「SOWA KA」のような伝統的建物を改装したスモールラ</p>	1件	無	参考意見とさせていただきます。貴重なご意見ありがとうございます。
---	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----	---	----------------------------------

ラグジュアリーなホテルなどがあると面白いと思います。彦根キャッスル リゾート&スパさんなどとても素敵な宿泊施設は市内にも複数あると思いますが、他にも幾つかあるといいのではないのでしょうか。ラグジュアリーな宿泊施設と合わせて、禅、茶道、華道、竹生島クルーズ、日本庭園鑑賞など上質な体験を組み合わせて旅行プランを作成する。また大津市の、複数の町家を利用したホテル「講 大津百町」のような取り組みも面白く、空き家を活かせるのではないのでしょうか。

●サテライトオフィス

・徳島県神山町の取り組み。特にプラットイーズの、築90年の古民家を改装した「えんがわオフィス」や「WEEK 神山」のような取り組みが面白いと思います。

●市内でも、足軽ワークス 風 midori さんのような取り組みが面白いと思います。

また、町家に限らず、市内の空き家や商店街の空き店舗などを利用したフリーの工房があれば面白い。大津市にあるアーティストプラットホーム「芸術準備室ハイセン」のような施設。利用料金はあると思いますが、制作スペースと工具が自由に使える共用工房。芸術家や工芸作家などが使え、イベント開催などでまちづくりとも連携すると面白い。

4	<p>●外国人観光客をターゲットにしたプラン</p> <p>・ひとくくりにはできないかもしれませんが、外国人に人気があるもの、ニーズがあるものを組み合わせさせて旅行プランを考えるのはどうでしょう。彦根市に限らず近隣や県内の市町村と連携します。個人的に外国人人気が高そうなものは、「海洋堂フィギュアミュージアム黒壁」「甲賀の忍者」「彦根城博物館の甲冑や刀剣」（レプリカを試着して写真を撮れたら面白い）「国友鉄砲ミュージアムの火縄銃」（実際に外国人の来館者が多い）、「湖東焼」。「河内の風穴」「琵琶湖のアクティビティ（サップ、カヤックなど）」も。</p>	1件	無	参考意見とさせていただきます。貴重なご意見ありがとうございます。
5	彦根城はもちろん大事だが「もし彦根城がなかったら」と仮定するぐらいの気持ちで新しい文化の創造も必要かと思います。ひこにゃん・彦根城以外の文化のバリエーションももっとあるとよいのでは。ほか「浄土」をテーマに県内の仏教美術を巡る	1件	無	参考意見とさせていただきます。貴重なご意見ありがとうございます。